

さっぽろセミ通信

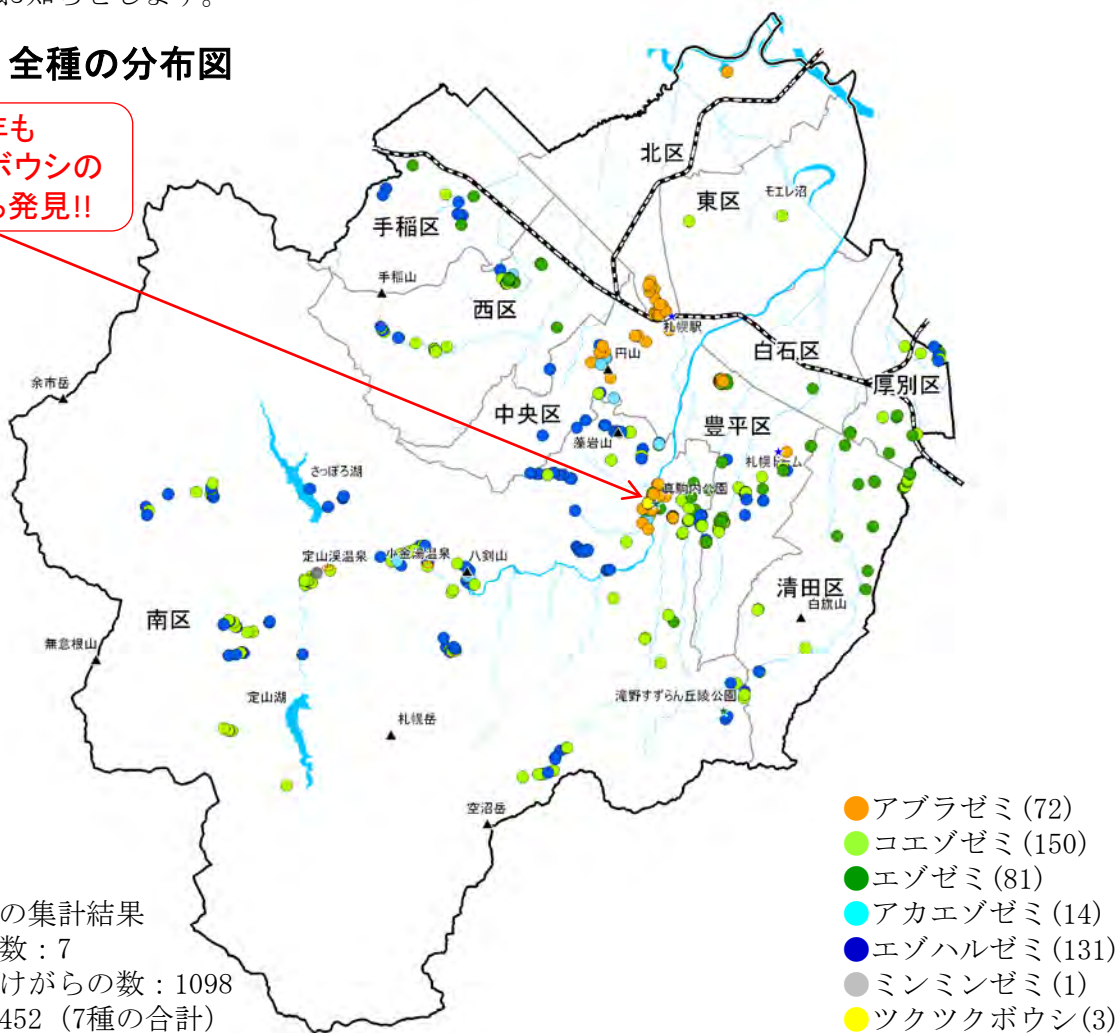
No. 3 (2009. 11. 21) 発行：札幌市博物館活動センター

札幌市博物館活動センターでは市民の皆さんに参加していただいて、2008年から「札幌市セミ調査」をスタートさせ、札幌のセミの生息状況を記録しています。この「さっぽろセミ通信」では調査の途中経過をお伝えしていきます。

札幌市セミ調査の今年のぬけがら募集は10月31日で締め切りました。札幌市内から1098個体、市外の標本も含めると1132個体のセミのぬけがらが届けられました。ご協力ありがとうございました。今年はツクツクボウシのぬけがらが複数見つかり、確実な発生地が明らかになりました。11月14日現在の集計結果をお知らせします。

全種の分布図

今年も
ツクツクボウシの
ぬけがら発見!!



11月14日現在の集計結果
見つかった種数：7
寄せられたぬけがらの数：1098
採集地点数：452 (7種の合計)

- アブラゼミ (72)
- コエゾゼミ (150)
- エゾゼミ (81)
- アカエゾゼミ (14)
- エゾハルゼミ (131)
- ミンミンゼミ (1)
- ツクツクボウシ (3)

変化するセミの分布

地球温暖化や都市化などによって野生生物の分布が変化してきていることは、テレビ番組や新聞などでも盛んに報道されています。セミでも以前と比べると分布が大きく変化してきていることが知られています。例えば、大阪市平野部では以前はアブラゼミばかりだったのですが、現在ではクマゼミばかりとなってしまったそうです。

札幌市でもセミの分布は変化しています。1910年代の札幌の市街地ではコエゾゼミやエゾゼミが多く、アブラゼミは少なかったようです。しかし、その後だんだんとアブラゼミが増えて、逆にコエゾゼミとエゾゼミは減ってしまったそうです^{1), 2)}。昨年と今年の調査でも市街地からはアブラゼミのぬけがらがたくさん見つかりましたが、コエゾゼミやエゾゼミのぬけがらはほとんど見つかりませんでした。

今後、札幌市のセミの分布はどのように変化していくのでしょうか？ そのことを知るためにも、札幌市セミ調査で現在の分布状況を記録しておくことはとても重要となります。(MS)

1) 西尾美明 (1977) 北海道のセミ. 北海道の文化. 37, pp. 18-21.
2) 河野広道 (1955) 北方昆虫記. 楡書房.

アブラゼミ

寄せられたぬけがらの数：332

採集地点数：72

主に市街地にある公園や社寺から見つかりました。発生量もとても多いようで、1つの地点から多数のぬけがらが寄せられることもありました。山間部でも小金湯や定山溪の温泉の近くで見つかっています。



コエゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：384

採集地点数：150

札幌のセミでは最も分布の広い種類で、平地から山地まで市内各地からぬけがらが見つかりました。



エゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：175

採集地点数：81

主に平地から低山地の森林や公園から見つかっています。特に札幌市東部には多いようです。



アカエゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：14

採集地点数：14

エゾゼミと同じように主に低山地の森林から見つかっていますが、個体数はエゾゼミよりもだいぶ少なく、生息地も限られているようです。エゾゼミのぬけがらがよく見つかる札幌市東部からは見つかりません。



エゾハルゼミ

寄せられたぬけがらの数：189

採集地点数：131

低山地から山地にかけて広く分布しています。今年の春は各地で大合唱が聞かれました。針葉樹の植林地で大発生していた場所もありました。



ミンミンゼミ

寄せられたぬけがらの数：1

採集地点数：1

これまで札幌市内で発生しているか疑問でしたが、今回の調査で南区定山溪からぬけがらが見つかり、発生していることが明らかになりました。



ツクツクボウシ

寄せられたぬけがらの数：3

採集地点数：3

今年は真駒内公園とその周辺で鳴き声がよく聞かれました。ぬけがらは、おもにヤナギ類で構成される、豊平川の河畔林から見つかりました。



セミの好きな木

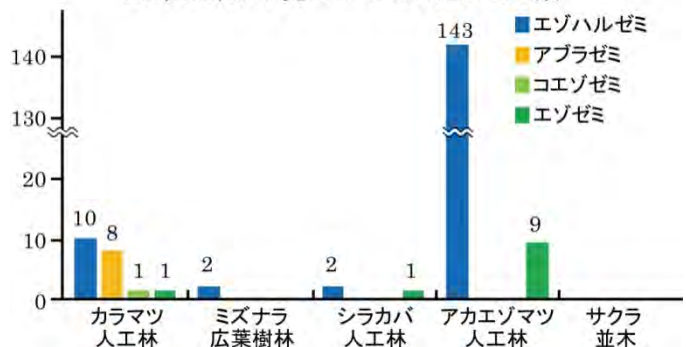
セミのぬけがらを探してみると、ぬけがらがよく付いている木と全く付いていない木があることに気が付いたかもしれません。セミの種類によって、好む環境や木の種類は違います。同じ種類のセミでも地域によって異なることもあります。札幌ではセミはどんな木を利用しているのでしょうか？

今年、真駒内公園内のいろいろな林の木から何匹のセミが羽化したかを調べてみました。それぞれの場所で10本の木を選び、7月と8月に木の上と根元にあるぬけがらを全部集めました。

結果は右上のグラフのようになりました。一番種類が多かったのはカラマツ人工林で、4種類のセミが発生していました。一番たくさんのセミが発生していたのはアカエゾマツ人工林でした。特にエゾハルゼミはほかの場所の10倍以上でした。

この調査では5種類の木しか調べていませんが、今後、いろいろな場所で同じような調査をやってみると、セミの好む環境や木の種類がわかりそうです。さらに、同じ場所で毎年継続して調べると、年によるセミの発生量の違いも明らかになります。(TK, MS)

10本の木から見つかったぬけがらの数



お知らせ

・アンケート調査実施中！

「今年、ぬけがらが見つからなかった場所」についての情報を募集しています。みなさんからの情報をもとに、昨年と今年のぬけがら調査の結果をさらに詳しく分析します。アンケート用紙は札幌市博物館活動センター内で配布しています。また、ホームページからダウンロードすることもできます。ご協力をお願いいたします。

提出方法：札幌市博物館活動センター宛に持参、FAX、郵送のいずれかで提出してください。

締切：2010年1月31日（消印有効）

札幌市博物館活動センター

〒060-0001

札幌市中央区北1条西9丁目

リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002

FAX 011-200-5003

<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

編集後記

今年もツクツクボウシのぬけがらが見つかりました。主要な発生地は河畔林のようです。こうした環境も最近少なくなっていますから、貴重ですね。(TK)

寄せられたぬけがらの数がついに1000個を超えました！ 昨年の調査と比べると3倍以上です。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。(MS)